

「令和6年度第1回高知県食の安全・安心推進審議会」

開催日時：令和6年6月6日（木）14：00～16：30

場所：高知共済会館 3階大ホール「桜」

委員氏名：山下委員、津野委員、久委員、白石委員、国則委員、内村委員、中山委員、中村委員、松岡委員、田中委員、近藤委員、山本委員

議題：次第参照

1 開会

- ・委員17名中12名の出席で審議会成立。

2 健康政策部長挨拶

3 議事

(1) 第4次高知県食の安全・安心推進計画に基づく昨年度の取組報告及び今年度の計画について

- ・事務局より資料について説明。
- ・各担当課から資料2-2について説明。

◇審議

委員

①リスクコミュニケーションのカウンターの仕方について質問。また、(県と市の合同分は)11月開催で調整中とのことだが、どんな内容を予定しているのか。

②豚熱について、野生イノシシだけでとどまっているのか。ジビエとして活用するのもよいが、検査をしているのか。

薬務衛生課

①各保健所1回開催(2回開催した保健所あり)、高知市との合同開催を合わせて7回実施。カンピロバクター、ノロウイルス、アニサキスが食中毒の事件数の上位を占めており、昨年度はカンピロバクターの食中毒に関する内容で実施。今年は開催時期が冬に入る手前ということもありノロウイルスで行いたいと考えている。

畜産振興課

②県内で養豚場における豚熱の発生はなし。イノシシにおける豚熱の発生状況は、東は室戸、西は土佐市まで陽性事例あり(5月1日に県内43例目を確認)。検査については、死亡したイノシシや猟友会に委託をして採血を実施。引き続き検査を継続し、県内における感染状況の把握に努める。

薬務衛生課

②ジビエ肉に関しては、各保健所が食肉処理業の営業許可をおろしている。ガイドラインをもとに、保健所において豚熱の感染状況をふまえて指導をしており、安全安心なジビエが提供されている。

委員

- ①2枚貝のサンプリングについて、1回の検査の検体数はどのぐらいか。
- ②農薬違反の出荷の自粛について、経緯を教えてください。

水産業振興課

①貝毒検査の回数と同じ26回行っている。1回の検査における貝の量は把握していないが、検査に必要な量を1回ごとに検査機関に送って実施している。なお、これは定期的な検査の回数であり、貝毒の発生時には頻度を増やして検査を行っている。

環境農業振興課

②事業者の自主検査において残留値を超えたものの件数を記載。うち1件は以前に使用していた農薬が土壌に残っており、その農薬と作物の特性から検出にいたった。残る2件は農薬の使い方、器具の洗浄の不備等によるものである。

委員

- ①「土佐の料理传承人」の講座でこれまで実施されたメニューや、传承人の高齢化にともない後継者が育っているのか教えてください。
- ②直販所の「安心係」配置について、消費者がそれとわかるようなステッカー等の表示があるのか。
- ③食育のところで、共働きを背景にこども食堂で夕食をやってほしいという要望が最近多いと聞いたが、こども食堂との連携はどうなっているのか。

農産物マーケティング戦略課

- ①毎年传承人を選定して、料理を追加してモチベーションが高まるように工夫している。
- ②「安心係」は講習会受講者に認定証を発行し、店舗の見える位置に掲示しているほか、直販所マップに笑顔のマークをつけている。

保健体育課

- ③こども食堂は他課が担当しており、こちらでは把握していない。

事務局

担当課に確認し、次回の審議会で共有したい。

委員

以前息子たちが高知の伝承料理が掲載された本を持って帰ってきたが、最近はそのい

うものは発行しているのか。

農産物マーケティング戦略課

当課では、HP「おいしい風土こうち」で郷土料理の紹介とレシピを掲載している。また、農林水産省のHPでも同様に掲載があり、高知の料理が紹介されている。現在はサイトでの紹介が多い。

委員

今の時勢に合っており、よいと思う。

委員

- ①高知県のなすが高血圧によいと宣伝されていたが、その反響はどうか。
- ②高齢化が進んでいるなかで、生産者の人数を今後どのように確保していくのか。

農産物マーケティング戦略課

①コリンエステルがなすに含まれているということで、機能性表示食品として登録している。ただそれが浸透するかどうか、伝え方を試行錯誤している。

②担い手支援として、県外でのセミナー、マッチング商談、指導農業士の派遣により就農を促す取組を行っている。

委員

なすについて、県内外の学校に普及されているとのことだったが、サンプルとして提供しているということか。

農産物マーケティング戦略課

提供し、食べていただくところまで行っている。

委員

地域食育推進事業の食育講座の事業効果の分析において重点校でアンケート調査とあるが、結果が出ているなら教えてほしい。

保健政策課

このアンケートは、児童が講座実施直後に記入する形にしている。講座を受けて朝食を食べてみたいと思ったかという質問に対し89%が肯定、講座の内容の理解度は90%が「はい」と回答した。年1回の開催のため、引き続き学校と連携しながら継続していきたい。

委員

できれば同じ学校にアンケートを行い、経過が知りたいところである。

また、ヘルスメイト主催の教室等でたんぱく質が少ないのでたくさん摂りましょうと指導しているところが多く、腎機能の低下がみられる場合にはそれはどうかと思う。地域活動で食事指導を行う場合には、いろんなことを考慮してもらえるとありがたい。

(2) 分科会の開催について

- ・事務局より資料3について説明。
- ・テーマ及び座長は次のとおり決定。
 - ア 「災害時の食事と衛生」 座長：久委員
 - イ 「大人の食育」 座長：白石委員

4 報告

- ・紅麹を使用した食品の健康被害について、薬務衛生課から説明。

5 閉会

◇連絡事項

- ・分科会は秋頃、第2回審議会は1月頃を予定。